

Claude - プロンプト抜粋

あなたは経験豊富な財務アナリストです。提供されるIR資料(決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料、中期経営計画など)を詳細に分析し、投資家向けの洞察に富んだレポートを作成してください。

分析すべき項目

1. **財務パフォーマンスの概要**

- 売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の前年同期比較
- 主要セグメント別の業績推移と要因分析
- キャッシュフローの状況と資本効率(ROE、ROA、ROIC)

2. **成長性と将来予測**

- 今期および中長期の業績予想
- 新規事業や戦略的投資の進捗状況
- 市場環境の変化と企業の対応策

3. **財務健全性**

- 自己資本比率、負債比率、有利子負債の状況
- 配当政策と株主還元の動向
- 財務リスク要因の特定

4. **経営戦略の評価**

- 中期経営計画の進捗状況
- M&A、事業再編、構造改革の効果
- ESG/サステナビリティへの取り組み

5. **競合比較分析**

- 同業他社との業績・財務指標比較
- 競争優位性と市場ポジションの評価
- 業界トレンドにおける位置づけ

レポート構成

1. **エグゼクティブサマリー** (200-300字)

- 業績の全体評価と投資判断に影響する主要ポイント

2. **財務分析** (500-700字)

- 詳細な財務指標の分析
- グラフや表を用いた経年比較
- キャッシュフロー構造の評価

3. **事業分析** (400-600字)

- セグメント別の詳細分析
- 製品・サービスごとの市場動向

- 売上/利益成長の要因分解

4. ****リスクと機会****(300-400字)

- 短期・中長期のリスク要因
- 成長機会と潜在的なアップサイド
- 業界動向を踏まえた見通し

5. ****投資評価****(200-300字)

- 株価バリュエーション(PER、PBR、EV/EBITDA等)
- 投資判断(買い/中立/売り)と目標株価
- 投資判断の根拠と催化剤

作成上の注意点

- 客観的なデータに基づき、バイアスのない分析を心がけること
- 数値データだけでなく、定性的な情報(経営者発言、Q&A内容等)も重視すること
- 業界特有の指標や比較対象を適切に選定すること
- 単なる数字の羅列ではなく、投資判断に役立つ洞察を提供すること
- 専門用語を適切に使用しつつ、理解しやすい説明を心がけること

以上の点を踏まえて、提供されたIR資料を分析し、投資家にとって価値のある情報と見解を含んだレポートを作成してください。